

# 議会だより



## りゅうおう

No.178

2017年2月1日  
滋賀県竜王町議会

昔を今に伝える神事  
↓  
関連記事P18

確かな議会活動をめざします!



願いを叶える

定例会報告 追加補正予算 3

一般質問 進まぬ住宅地整備 14

追跡 西小の地盤沈下対応 17

シリーズ いきいき人生 18

12月  
定例会

撮影：写真クラブ竜王 西 義治さん

# 3月に造成工事 完了

## 条例 関係

### 農業委員会委員等の定数 変わる (平成29年7月20日から)

農地利用最適化推進委員は  
どんな仕事をするの？

農地の出し手、受け手へのアプローチを行い、  
農地利用の集積や集約化の推進などをします。

農業委員会委員の定数は、14人  
農地利用最適化推進委員の定数は、14人と  
定める。

**問** 町長は、何を基準にして農業委員を任命するのか。

**答** 団体や個人の推薦、公募での応募者を評価基準  
に照らし合わせて任命する。



近江うし丸



## 条例 関係

### 福祉医療費の全額を助成 (平成29年10月1日から)

#### 全額助成の範囲が拡大します

現状

通院医療費：就学前まで  
入院医療費：中学校卒業まで



H29.10.1から

中学校卒業まで

**問** 全額助成にあたり年間約3,000  
万円がさらに必要となると予測さ  
れているが、その財源は。

**答** ふるさと納税による寄附金を一部利  
用し、残りは一般財源から支出する。

#### 第2回臨時会 10/17



教育長に  
甲津和寿氏

- \* 新教育長に甲津和寿氏（川上）を選任同意
- \* 全国青年大会へ選手を派遣するための費用を補正
- \* 10月採用の職員の作業服などの購入費用を補正



11月  
開催

全国青年大会(東京にて)



# 定例会で何が決まったの？

12月定例会では、条例7議案と補正予算7議案  
その他2議案を原案どおり可決しました。

# 滋賀竜王 工業団地

補正  
予算

## 主要内容

平成28年度一般会計補正予算(第4号)は、  
2億8,387万円を追加し、予算総額66億  
338万1千円に決定しました。



担い手の経営発展に必要な  
機械等の導入補助

1,476万円



地域密着型介護サービス  
実施のための費用  
(介護保険特別会計)

4,226万円

このサービスは  
10のサービスからなり、  
利用できるのは、原則とし  
てサービスを提供する事業  
者のある市町村に住む  
人に限られます。



滋賀竜王工業団地関連  
土地取得費(防災施設用地など)

1億9,160万円

ロゴマークが  
11月に決定  
しました。



竜王スキヤキ  
プロジェクト

プロジェクトをPRするための  
映像などの作成費用

172万円

### 寄附金の推移(年度)

H26	14万円
H27	9,749万円
H28(12月末)	1億2,090万円

☆寄附金は一旦一般会計に収入され、一般会計から  
基金に積み立てられます。条例に規定した6つの事  
業に要する費用に充てる場合に繰入れをします。

ふるさと交電寄附金を  
基金に積み立て

6,000万円



近江うし丸

チェック  
します

# 議案への質疑



小規模多機能型居住介護 山かがみ

**問** 小規模多機能型居住介護（地域密着型介護サービスの一つ）は、27年度の後半から利用者が増加したことからこれにかかる給付費を増額補正されたと思うが、今後の利用人員をどのように考えているか。

**答** 定員は25名と決まっている。今後は、施設の利用状況に応じて第7期介護保険事業計画の策定でニーズを調査しながら慎重に対応する。

地域密着型  
介護サービス



校舎周辺沈下状況を視察

**問** 西小体育館改修工事設計業務委託料544万円の減額が、校舎周辺沈下改修工事設計業務委託料626万円に充てられたのか。

**答** 体育館改修工事は、公共施設の長寿命化に向けた国の補助金の対象になることから、これを活用し、後年度に実施することとしたため減額。沈下改修工事設計業務委託料は今回新たに予算計上した。

竜王西小学校  
校舎周辺  
沈下対応

関連→P6・17

委員会の活動

## 常任・特別委員会の活動

### 地域活性化特別委員会

視察

視察研修 兵庫県三田市  
北摂第二テクノパーク

- ・PFIや土地信託方式による民間主体での事業化
- ・不動産開発業者が事業主体となり企業誘致

感想

企業による企業情報を生かした誘致活動と厳しい営業努力を基本に迅速な行動力と多方面の顧客対応に民間と公共の違いが感じられた。

PFIって？

民間の資金と経営能力やノウハウを活用し、設計・改修・更新や維持管理を行う公共事業の手法だよ！



近江うし丸

### 人口減少対策特別委員会

調査

ファミリーサポート事業の検討

他市町のファミリーサポート事業の状況や、県内のファミリーサポートセンターの状況について説明を受けました。



こどもひろば すくすく

**問** 竜王町で、ファミリーサポート事業を立ち上げる意向はあるのか。

**答** こどもひろばの利用者全員から意見を聞いている。意見を踏まえ、また、費用対効果を考えて検討を進めたい。



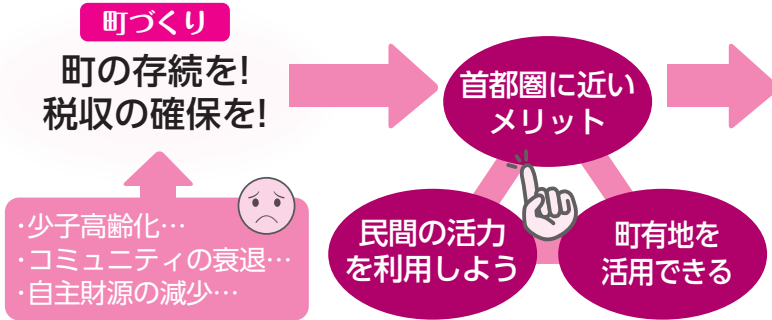
## 総務産業建設常任委員会

視察

### 視察研修 神奈川県 山北町・松田町の住宅施策

両町とも人口が11,000人程度で一般会計が45億円前後と竜王町と規模が近い。  
両町の町有地や民間ノウハウを活用した住宅施策について研修を行いました。

#### 松田町 人口減少対策における町づくり対策の考え方



#### 施策

- ・ P F I 協会による民間活力
- ・ 定住少子化担当課の設置
- ・ 職員が空き家の実態調査
- ・ 町有地資産の利活用
- ・ 住宅取得奨励金補助制度
- ・ 二世帯同居等支援奨励制度
- ・ 民間賃貸住宅家賃補助制度
- ・ 同窓会開催支援制度
- ・ 職員視点でない宣伝紙作成



町営定住促進住宅42戸を整備した山北町

#### 感想

両町ともPFI事業への取り組みに並々ならぬものがあり、松田町は、山北町の成功事例を隣の町として強く競争意識を持ち取り組んでおられると感じた。

山北町は苦勞の末に成功した自負があり職員の力強さがあった。  
松田町は、若い町長のリーダーシップのもと、若い職員が中心となり定住に向けた取り組みへの活気があった。

我々議員も研修の成果として行政に対して具体的な提言をしていく必要がある。

調査

### 環境基本計画の内容

28年3月に策定された竜王町環境基本計画について説明を受けました。  
この計画は26年3月に制定された竜王町環境基本条例に基づき、環境目標や基本施策、主要施策などを定めたものです。

#### 目指すべき竜王町の環境未来像 「次世代へ煌く環境と交流の郷」

- 豊かで美しい環境の実現
- 環境負荷の少ない持続的発展可能な社会の構築
- 自主的かつ積極的な環境の保全に係る行動
- 地球環境保全の推進へ全事業活動や日常生活における積極的活動

調査

### 防災情報システムの整備

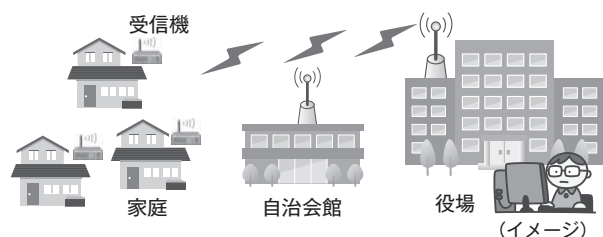
- H28年度:地域コミュニティ無線システム基本設計業務
- H29年度:地域防災システム構想設計着手
- H30年度:実施設計
- H31~32年度:(仮称)竜王町地域防災情報システムの整備

問 電波の調査は進んでいるのか

答 電波利用域の調査を今年度中に着手する

#### 地域コミュニティ無線システムとは

- 役場から防災情報を提供
- 自治会から各種行事案内等の情報を提供
- 混信のない専用波(400MHz帯)を利用



## 教育民生常任委員会

調査

### 竜王西小学校地盤沈下の現状

関連→P4・17

#### 主な調査結果

- ・ 地中の雨水排水管や下水管が地盤の沈下により部分沈下し、管内に排水の滞留や汚物の体積がみられる。
- ・ 駐車場では路面沈下によるひび割れが発生している。
- ・ 植込み土間に傾きと隙間が生じている。

#### 意見

完全復旧に多額の費用が必要であり、竜王小学校の改築も予定していることから、これらを包括的に検討した上で、地盤沈下への対応策を早期に示すこと



グラウンドの鉄棒の沈下



側溝の傾きによるグレーチングの変形



校舎コンクリート部の地盤沈下

調査

### 竜王中学校の学力向上の取り組み

#### ● アクティブラーニングによる授業改善

- ・ 生徒自らが問題を発見し、その解決に向けて主体的・協同的に学ぶ学習であり、学びの質や深まりを重視する学習。

#### ● ICT機器を活用した英語授業

- ・ ICT機器を活用することで授業が活性化し、コミュニケーション能力の育成につながっている。

**問** 生徒自らが学習の意欲を持つきっかけは

**答** 学習に対して意義を感じるよう働きかけることが大切。35人以下学級の効果も大きい。

**問** 義務教育において土曜塾の存在意義は

**答** 生徒自らが学ぼうとする意欲の上に成立している。長期休業中も教室を開放している。

オール  
イングリッシュ  
英語授業



英語授業(竜中1年)

編集の手法、これからの課題など  
活発な意見交換を行いました！



視察研修の受け入れ

京都府木津川市議会

11月22日

三重県川越町議会

10月5日

視察研修の受け入れ

紙面の充実を目指し、前号より新たに「追跡コーナー」を設けました。  
また、編集技術向上のために「議会だより編集マニュアル」の作成に向けた検討を重ねています。

広報特別委員会



# 町政

## ここを聞こう!

12月定例会は12議員が  
21問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
8	内山英作	いつになったら移動手段が確保されるのか
		地域福祉推進条例の制定を
		地域福祉センターの設置を
9	貴多正幸	地方創生加速化交付金の活用状況は
	小森重剛	今年度の決算見込みと来年度の予算編成方針は
10	森山敏夫	“老老介護”の現状と今後の方針は
		日野川右岸の川守地先低地 浸水対策と妹背の里のあり方は
11	松浦 博	竜王南部地区防災センターは改修か土地の活用か
	山田義明	起業促進で町の活性化を
12	若井猛志	非常食の備蓄は
		生活道路での「ゾーン30」の整備を
		後期高齢者健診の受診券は
13	古株克彦	祖父川の遮水矢板工事の状況は
		広谷川河川改修今後の工事計画は
14	岡山富男	「安全パトロールステッカー」で防犯対策を
	菱田三男	今日までの住宅施策は
15	森島芳男	日野川堤防の危機管理は
		自転車道が必要ではないか
16	小西久次	土地改良施設の維持修繕は
		町道等の維持管理は
		幼稚園の預かり保育の拡大は

### 一般質問って?

町の行政全般について  
議員が町長をはじめとして  
担当部局に疑問点を質したり、  
見解などを尋ねたりするもので、  
毎定例会で行われるよ



近江うし丸

そうだ 傍聴に行ってみよう!  
次回の一般質問は3月中旬予定

議会事務局 ☎ 58-3713



内山 英作 議員

## 問 いつになったら 移動手段が確保されるのか

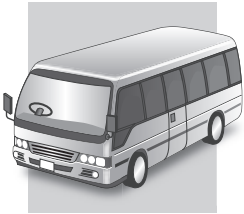
答 交通システムの構築に向け  
鋭意取り組む

問 近年、食料品をはじめとする生活必需品を販売する店が各自治会になくなったり、高齢化などにより移動の

困難な人が増加しているにもかかわらず、必要な移動手段が十分に確保されていない現状がある。  
そこで、今日まで町が取り組んできた施策・支援と神奈川県大和市などの先進事例についての考えを問う。

答 NPO法人外出支援ボランティアスマイルに対しては、事業経費の一部を補助金で支援している。

大和市の事例は、複数の自治会の連携もとの、継続的、安定的な運行や安全性の確保、経費の負担等を合わせて検討することにより、今後の移動手段を確保する上での、一つの可能性になると考える。

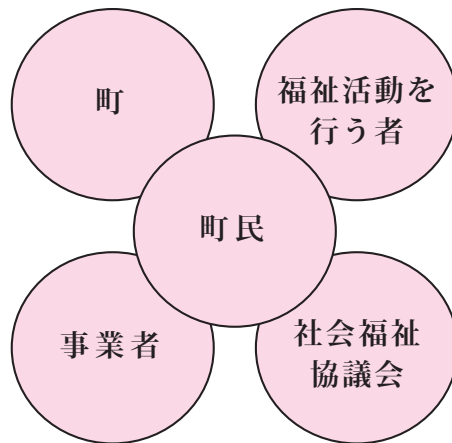


## 問 地域福祉推進条例の制定を

答 福祉保健推進協議会で  
意見を聞く

### 地域福祉推進条例

それぞれの役割を明確に規定



(イメージ)

問 福岡県筑紫野市では平成22年に「筑紫野市地域福祉推進条例」を制定し、地域福祉に関する仕組みを制度として定め、また、その中で地域福祉計画の策定や計画等の推進委員会を規定している。竜王町での本条例制定の意向はどうか。

答 地域福祉に対する町全体の機運が高まるようこれまで以上に地域の皆様に働きかけ、住民意識の醸成を図るうえで条例制定を考えたも遅くはない。  
現在のところ条例制定は考えていないが、今後開催する福祉保健推進協議会で意見を聞く。

## 問 地域福祉センターの設置を

答 現時点では、考えていない

問 竜王町に地域福祉センターの設置が叫ばれて約30年近くになる。地域福祉を推進する竜王町にとって、活動拠点の確保は必要なことであり、また町民の長の願望である。  
センター設置についての町長の考えは。

答 竜王町では、機能が集約されたセンターという形ではなく、町内の各施設全体としてセンター機能を果たせるよう環境を整備し、地域住民の福祉の増進に寄与している。  
センターの設置については、財政的負担も考慮する必要があり、現時点では考えていない。



竜王町福祉課と社会福祉協議会の事務所がある竜王町福祉ステーション

地域福祉センターは、デイサービス事業、食事サービス事業、ボランティア活動支援事業ならびに幼児・児童健全育成事業等を行う地域福祉活動の拠点となる施設です。





貴多 正幸 議員

## 問 地方創生加速化交付金の活用状況は

**答** ・若者交流事業の進捗は予定通りに進んでいない。  
 ・近江牛等特産品発信事業は、本町の知名度向上に努めていく。

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた①若者交流事業②電王近江牛等特産品発信事業の現在の進捗状況と今後の見通しは。

**答** ①当初、予定していたとおりに進んでいない状況。若者の意見をまちづくりに反映することは町の重要課題の一つである若者の定住促進に向けた必須の取り組みでもある。今後は、事業への参画者を募り、交流機会の立ち上げを進めつつ、広く町に関わる皆さんが、町の課題やまちづくりへの意見を述べることでできる環境を整え、皆さんに興味を持



メンバー随時募集中

つてもらえる情報を効果的に発信する方法についても見いだししていきたい。

②町内の生産者、企業、関係組織などからの委員18名で構成する電王町まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進協議会を設置し、ブランドの広報PR、観光・体験コース、農業（就農）支援、6次産業化推進、田園資料館改修の5つの分科会により具体的な議論をしている。

特産品のPR活動にも努め、今後においてはプロジェクト推進協議会の各分科会を中心に事業を推進し、本町の知名度向上に努めていく。



小森 重剛 議員

## 問 今年度の決算見込みと来年度の予算編成方針は

**答** 予算編成は今年度当初予算の90%を上限とする

**問** 28年度の一一般会計当初予算は、62億4100万円と27年度と比較して、2.2%の増で編成された。これは財源不足額を補てんするため、財政

調整基金繰入金を約2億6000万円計上し、財政調整基金残高が約4000万円になる見込みでの予算編成となったが今年度の決算の見込みは。

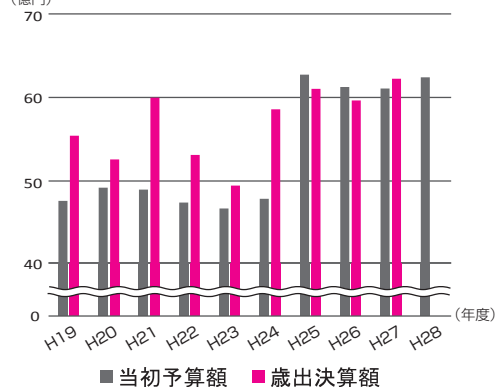
また、今年度の決算見込みを踏まえ、来年度一般会計の予算編成方針と、特に、重点的に取り組む事業は何か。

**答** 決算見込みについては、年度末にどの程度の補正額が必要となるかによるところが大きいですが、過去5年間

の繰越金のうち繰越事業に充当する分を除いた繰越金の平均額は、約1億5000万円であり、今年度も同程度の規模になるよう財政運営をしていく。

平成29年度の予算編成においては、全体で前年度比10%の削減としている。なお、①人口減少・若者定住に向けた事業②地域力の向上に資する事業③次世代に誇れるまち創りに資する事業の3点について重点的に取り組んでいく。

当初予算額と決算額の推移（一般会計）



# 問 “<sup>ろうろう</sup>老老介護”の現状と 今後の方針は

答 包括的体制作りを進め、取り組みを強化



森山 敏夫 議員

高齢になっても  
住み慣れた地域で  
暮らせるために

【近所】



【相談】

【介護】

【医療】



地域一体で支えていきます

**問** 今後ますます高齢化が進む中、老老介護への対応は無視できない重要な課題である。介護する人の金銭的負担軽減はもとより、肉体的・精神的負担を軽減し、生きる希望を失う事の無いよう、今以上の支援の枠を備えることを真剣に考えなければならぬと思うが、町の見解は。

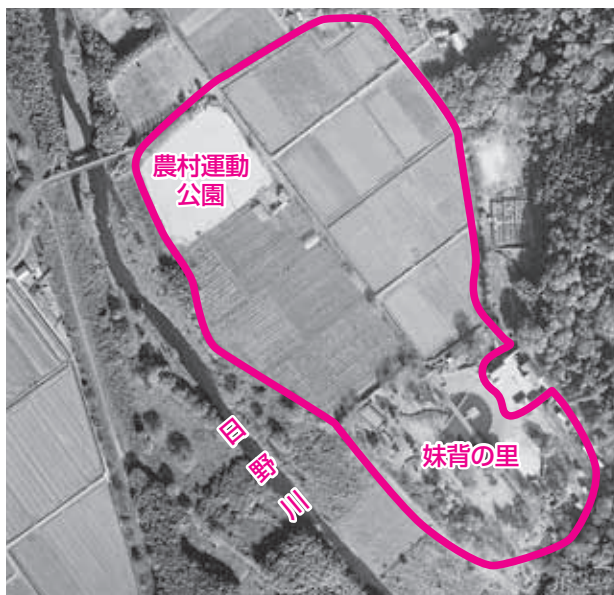
**答** 平成12年に介護保険制度が始まり、必要なサービスを利用する事で介護者の介護負担の軽減を図っている。金銭的負担を軽減するための制度やサービス、肉体的・精神的負担を軽減するためサービスがあり、利用されている。今後は、これまで以上に自助、互助共助、公助を上手く組み合わせることで包括的体制作り、地域との協働による支え合える体制作りを目指し、取り組みを強化していかなければならないと考えている。

**問** この地域は、川守地先との流量調整機能を持つ遊水地の役割を果たしている地形であり、その効果については、平成25年の台風18号で日野川下流部での大きな被害を未然に防止出来たことで

**問** 日野川右岸の川守地先農村運動公園、妹背の里低地は、遊水地とのことだが、この地域が浸水することによって日野川の氾濫を抑制する効果があるのか。また、この地域にある妹背の里施設については、管理のために毎年多額の費用がかかっているが、町と町民にとって残さなければならぬ重要な施設なのか。

**問** 日野川右岸の川守地先低地  
浸水対策と妹背の里のあり方は

**答** 本地域は、遊水地として  
河川の氾濫を抑制する効果がある



日野川の増水により浸水する妹背の里周辺

も証明されており、現時点で必要と認識している。また、妹背の里施設の必要性については、平成5年に「雪野山史跡広場 妹背の里」としてオープン以来、町内外から多数の来場者を迎えている。平成27年度の利用者数は約8万9千人である。事業の工夫と効果的な予算執行に努め、遊水地であることを十分に認識して、地域の活性化につなげていきたい。





松浦 博 議員

**答** 鉄骨の一部は錆による腐食や溶接部分が弱くなっている。スレート材

**問** 当センターは建築後40年以上経過した建物。老朽化が著しく集落の景観を損なっている。管理も十分行き届いていない。スレート屋根の寿命は20年程度であるが、強度とアスベスト飛散は大丈夫か。

**答** 施設のあり方を検討する必要があると認識

**問** 竜王南部地区防災センターは改修か土地の活用か

の強度の劣化も指摘されており、アスベスト類も含有している。

建物周辺の除草などの管理も行っているとは言いがたく、改めて施設点検を踏まえ管理を行いたい。現状からして、施設の適切な管理と有効利用には多大な経費が予想され、改めて防災施設と位置付け、資産の有効活用と視点を踏まえ、本施設の整理を含めたあり方について検討する必要があると認識している。

竜王南部地区防災センターは、現在、水防倉庫、第1分団の消防ポンプ車庫としての機能の他に、大きな空間を有していることから町の物品をも収納する倉庫として利用されています。



昭和47年建設された竜王町南部地区防災センター（岡屋）

スレートにアスベスト類4.1%含有  
強風で飛んだらどうなるの!?



近江うし丸



山田 義明 議員

**問** 起業促進で町の活性化を

**答** 商工会等と連携し

創業・起業を支援する

**問** 西田町政では起業促進に取り組むと言われているが、次の3点について問う。  
① 町民への機運醸成はどのようにしているのか。  
② 事業計画や資金計画についてのセミナー等の開催は予定されているのか。  
③ 起業資金や設備等の援助などの予定はあるのか。



**答** 「町内に町内の人により」1社でも多くの会社を創業・起業していただき、新たな雇用や所得を生みだしていただきたいと考えている。  
① 起業促進のためのセミナー情報を区長便や町ホームページや広報紙等で知らせている。  
② 創業に必要なノウハウを学ぶためのセミナーとして、近隣の市町を含めた商工会が主催する「創業塾」が開催されている。  
③ 開業資金などの滋賀県制度融資や政府系金融機関の新創業貸付などと、創業促進補助金がある。



創業のためのガイドブック (中小企業庁発行)

**問** 非常食が想定避難者数の一日分を確保出来ていないと報道された。災害時の最大

## 非常食の備蓄は

**答** 計画的に備蓄目標に近づけていきたい



若井 猛志 議員



防災センターに備蓄

### 非常食

飲料水・白かゆ・五目ごはん・野菜おこわなど

**答** 風水害時の想定最大避難者数である3056人を基本とし、3日分を目標としている。現在の備蓄量は、飲料水では必要とする量の13%、食料においては、17%となっており、十分とは言えない状況である。財政的側面も考え、5年を目途に備蓄していきたい。

避難者数をどの程度想定しているのか。また水・食料の備蓄はどの程度必要と考えているか。また、乳幼児や老年寄りにも対応できる食料の備蓄についても検討が必要であると考

**答** 本町では設置がない状況である。町内において、「ゾーン30」の設置条件である「幹線道路などに囲まれ、その中に生

**問** 町内の県道や町道では、朝夕の通勤時間帯に多くの車両が行き交い、交通事故が心配される。集落内の危険区域には、「ゾーン30」の設置を働きかけていただきたい。



ゾーン30の標示と標識

**問** 生活道路での「ゾーン30」の整備を  
**答** 本町では設置がない状況

### 「ゾーン30」とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて最高速度30キロメートル毎時の速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

活道路が集った市街地」という条件に合致する区域は、調査を十分に行っていないため明確には答えられない。

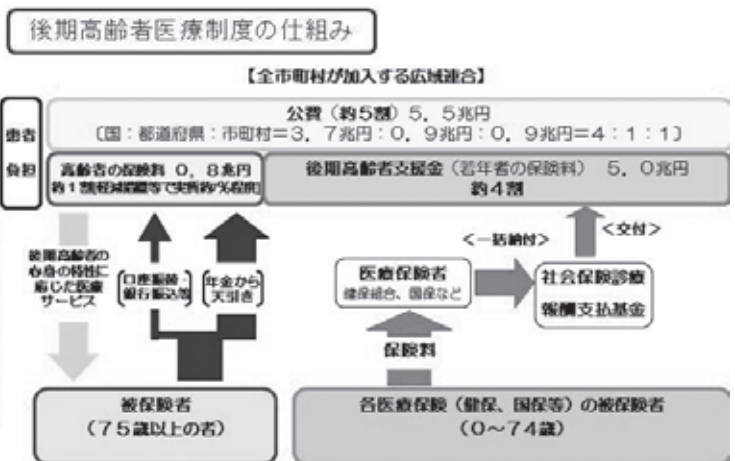
## 後期高齢者健診の受診券は

**答** 生活習慣病での受診者には送付していない

**問** 生活習慣病早期発見・重症化予防が必要であるが、今までは、ほとんどの高齢者に「健康診査の案内通知」が届けられていたが、27年度からは、医療機関に受診している人は対象外とされた。これでは医療にかかる機会

**答** 滋賀県後期高齢者医療広域連合の要綱に基づき生活習慣病により医療機関に定期的に受診されている方には、原則として後期高齢者健診の受診券を送付しないこととする。県内統一の運用に従っている。

を遠ざけることになる。町では誰に受診券が送られていないのか。







古株 克彦 議員

## 問 祖父川の遮水矢板工事の状況は

答 人家に隣接する箇所を優先する

**答** 竜王町を流れる天井川の堤防構造は、砂質系で粒子が細かい土質により築造された堤防である事に加えて、堤防幅が狭いため、堤防内に浸透した水においてパイピング

**問** 祖父川の河川改良工事で浚渫工事や遮水矢板工事などが行われているが、庶水矢板工事は、どのような地層の所で行われているのか。

**答** 減少等を起こす危険性がある。



竜王大橋（小口）下流の竹木伐採工事の様子

その具体的な対策としては、堤防を通る河川水を遮断する遮水矢板工があり、このほかにも堤防の表面から堤防に入る水を遮断する遮水シート工、堤防にたまった水を抜くやすくするドレン工がある。

須恵から岡屋集落付近にかけてそれぞれの地層に合ったドレン工や遮水矢板工が実施されている。

**問** 広谷川の26・27年度工事で薬師地区の湧川合流点のサイフォン工事が施工されたが、その後の工事計画は。

**問** 広谷川河川改修今後の工事計画は  
**答** 早期に完成するよう要望

**答** 広谷川の河川改修工事は、河川管理者である滋賀県において工事を進めていただいている。本年度については、主に町道薬師不動尊線間の函渠工の工事に着手している。来年度以降は計画的に

**答** 全長で520mあり、現在、230m工事が完了している残り290mである。

**問** 残りの工事区間はどのくらいか。



広谷川の薬師・不動尊線の函渠工の施工現場

\* 函渠…断面が四角形の地下水路



# 問 「安全パトロールステッカー」で防犯対策を

答 啓発の手法として取り組む



岡山 富男 議員



安全パトロールステッカー

**問** 「子ども110番のおうち」やスクールガードを地域の協力のもで行っているが、これらに加え普段子ども達が遊んでいる時に、犯罪被害にあわないように、郵便配達をされている人や町内でトラック運送をされている人にも協力を求め、車・バイクに安全パトロールステッカーを取り付けていただくことに取り組めないか。

**答** 啓発のために、のぼり旗の設置、呼びかけ・パトロール等の多様な手段があるが、自動車等を活用した安全パトロールステッカーも広範囲にわたって防犯を呼びかける点では効果的な手段のひとつと考えられる。町としても、提案を認識し、関係機関、団体との連携を視野に入れ、防犯対策の機運の高まりの中で前向きな取り組みの手法の一つとして捉えていく。

**問** 山之上西出地先については具体的な計画を示す段階に至っていない現状である。  
I・B・M跡地については、売却、住宅開発には至っていない。  
須恵・西川町有地、および鶴川町有地については、地積更生等の作業実施中であり、1月に完了予定である。今後、住宅

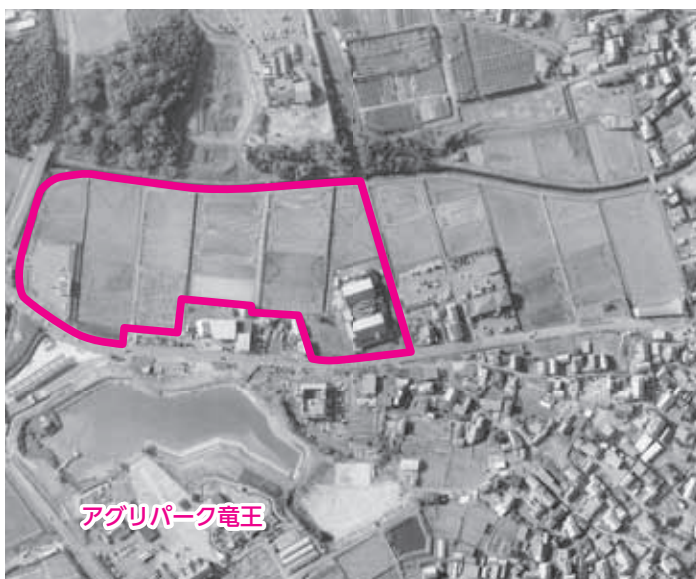
**問** これまで委員会ならびに一般質問にて各議員から町の住宅施策について多くの質問が出されてきたが、その後の進捗が全く見受けられない。具体的な状況の説明を求める。



菱田 三男 議員

# 問 今日までの住宅施策は

**答** 住宅地整備が早期に図れるよう準備を進める



山之上地区 地区計画の予定地

整備の可能性調査を実施し、整備手法等の検討に入りたい。  
また、これらに合わせ、民間開発についても注視しながら、投資と将来的な負担も考慮し、住宅地整備の実現につなげていきたい。





森島 芳男 議員

## 問 日野川堤防の危機管理は

答 国・県への要望活動を継続する

**答** 堤防決壊を防止するには、堤防の強化と河川水をスムーズに流す対策が必要である。平成22年

**問** 野寺橋より雪野山大橋間の西側堤防が、平成25年発生台風18号により大きく浸食され竹林が倒されている。急激に流量が増加する状況になれば堤防決壊も心配される。決壊となれば、大きな被害が予想されるが町としての考えは。



浸食が進み危険な状況(野寺橋下流)

に策定された、県の河川整備計画では、堤防の質的強化と氾濫制御の対策を図る河川として位置付けられており、河川管理者である県において、緊急性の高い個所から堤防の強化に努めている。国、県に対しては早期の河川改修と国直轄化区間としての採択を要望としており、今後においても活動を継続し、地域住民が安全で安心して暮らし続けられるよう努めていく。

## 問 自転車道が必要ではないか

**答** 道路管理者等に交通安全施設整備を求め

**問** 主要地方道近江八幡電王線においては、自転車道がなく、大変危険な状況と思われる。近年貨物自動車などが特に大型化しており、接触などで大きな事故が心配される。町として、どのように考えているのか。

**答** 当道路は、交通量の少なかった時代の道路整備であったため、歩道が設置されていないのが現状である。新設道路に自転車道や自転車歩行者道を設置する場合の基準は自転車道は15m以上、自転車歩行者道は30m以上の有効幅員が必要となっている。現時点ではこのスペースを確保することが困難であると考え、通行者の安全を確保する

ため、道路管理者や公安委員会に対し、交通安全施設の整備等の協議を行

い、安全確保に努める。



自転車道がない道路

## 問 土地改良施設の維持修繕は

### 答 補助事業により機能保全と 受益者の軽減に努める



小西 久次 議員



用水管の漏水状況

**答** 各集落で選出された農村保全委員連絡協議会で管理補修の費用捻出をお願いし、世代をつなぐ農村まるごと保全対策事業を活用し取り組みを進めている。今年度から制度が拡充され施設の更新にも一定の補助金を充てられるようになった。さらに協議会と連携し補助事業に取り組み、土地改良施設の機能保全と受益者負担の軽減に努める。

**問** 農業離れが進む中、土地改良施設の老朽化により維持修繕や布設替に多額の費用が必要であるが、受益者負担に対する補助等、地域の実情に応じた施策検討は。

**答** 町道等は地域の協力を得る中で維持管理を行っており農地周辺については、隣接農家で行っていたらいる現状であるが、地域農業情勢の変化と高齢化によりこれまでのような管理は困難な状況となってきた。負担軽減のため町に管理作業員を配置し定期的に

**問** 集落周辺の道路は自治会・土地所有者・耕作者が草刈り等をしているが、高齢化に伴って作業継続が困難になってきている。また、道路景観のために植樹されている町道は、経年とともに大きくなり通行障害と交通事故誘発の恐れがある。道路管理者としての考えは。



危険性の潜む町道

管理している。植樹した樹木は農作業・交通障害のために剪定等を行っているが、一定の整理が必要と考えている。しかし、地域の協力なしでは維持できないことから、地域の実情に即した管理ができる手法を考える。

## 問 町道等の 維持管理は 答 管理ができる手法を考える

## 問 幼稚園の 預かり保育の拡大は

### 答 3歳児についても 制度化したい

**問** 町内の保育園では保育ニーズに対応するため定員変更をされると聞く。人口減少が進む中で保育の方向性が重要である。次にについてはどうか。

①就学前児童数と、幼稚園・保育園の入園の現状と、次年度の申し込み状況は。

②幼稚園と保育園の過去5年間の園児数の推移と今後の予測は。

③幼稚園での預かり保育の拡大検討は。

**答** ①28年4月現在の就学前児童は622人で、このうち11月現在で入園者は幼稚園197人、保育園229人。11月現在の次年度入園申し込み状況は、幼稚園が196人、保育園が251人。②5年間の推移では幼稚園が45人減で、保育園が46人増である。今後の毎年の入園者数は、幼稚園は50人程度、保育園は200人程度（全受入園児数）となると予測される。③29年度から16時30分までの時間延長を行い3歳児についても制度化したいと考えている。



預かり保育(竜王幼稚園)





# 追跡!!

## あの一般質問はその後どうなった??

議員の質問に、当局がその後どのように対応したかを追跡・検証してみました。



### 竜王西小学校の地盤沈下の対応を

(平成28年第1回(3月)定例会一般質問より)

関連↓P4・6

**問** 竜王西小学校で地盤沈下が生じている。学校でもあり、災害時の広域避難所でもあるため、慎重かつ迅速な対応が必要ではないか。

**答** 今後専門的な調査が必要である。早急に調査の時期を見極めたい。



地質調査ボーリングの様子

◎そこっ…

- ← 28年5月定例会で調査費として500万円を予算計上
- ← 夏休み期間中に調査を実施
- ← 28年12月定例会で沈下改修工事設計費として626万円を予算計上

◎わかったこと

地盤沈下の影響により地下埋設管の変形、湾曲、勾配不良(逆勾配)が発生している。  
外構等においても植え込みの破損、側溝の変形、破損等損傷

が生じている。

以上のことから使用上の不具合、危険性があることから外構部及び配管部の修繕が必要である。

◎今後の対応への意見

完全復旧には、余りにも多額の費用が必要となること、また、竜王小学校の改築も予定されていることから、これらを包括的に検討したうえで、今後の竜王西小学校の地盤沈下への対応を適切に行うことを求める。

## 制度改正

# 教育委員会制度が変わりました



### これまでの教育委員会の課題

- ▶ 教育委員長と教育長のどちらが責任者かわかりにくい
- ▶ 教育委員会の審議が形骸化している
- ▶ いじめ等の問題に対して必ずしも迅速に対応できていない
- ▶ 地域住民の民意が十分に反映されていない
- ▶ 地方教育行政に問題がある場合に、国が最終的に責任を果たせるようにする必要がある

### 教育委員会の改革

- ▶ 教育行政における責任体制の明確化
- ▶ 教育委員会の審議の活性化
- ▶ 迅速な危機管理体制の構築
- ▶ 地域の民意を代表する首長との連携の強化
- ▶ いじめによる自殺等が起きた後においても、再発防止のために国が教育委員会に指示できることを明確化

#### 政治的中立性の確保

- ◆ 教育委員会は、引き続き執行機関
- ◆ 総合教育会議で、首長と協議・調整は行うが、最終的な執行権限は教育委員会に留保されている

#### POINT ① 教育長

教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置

#### POINT ② 教育委員会

教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

#### POINT ③ 総合教育会議

すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置

#### POINT ④ 大綱

教育に関する「大綱」を首長が策定

## 私とスポーツ少年団との出会い

私の若かりしころは京都の社会人リーグでサッカーに打ち込んでいましたが、現役を引退しコーチをして若手の指導に当たっていたころ、ある方から『竜王の子ども達にサッカーの指導をお願い出来ませんか!』と声をかけられて以来三十余年スポーツ少年団活動をさせていただいています。この間、大変な事も有りましたが、それ以上に出会いの大切さを学ばせていただきました。子ども達、育成会の方々、地域の方々、行政の方々、また他府県の指導者の方々との出会い、どの出会いも私の宝物です。



今、子ども達に伝えたい事は、子どもころにスポーツを通じて鍛えられた根性や気持ちといったものは大人になっても絶対に役に立ちます。ですから、どんなスポーツでもいいので、ぜひ取り組んでほしい。何かに打ち込むことがどれだけ大変で尊いものなのか、それを存分に感じてほしいし、堪能してほしいと思います。そして出会いを大切に!

表紙

### 石部神社の弓始め式

七里の石部神社は町内で格式のある延喜式内社です。境内社には春日大社の分霊、武人の重神とあがめられる八幡神の分霊を祭られています。毎年1月10日前後の日曜日に「弓始め式」を行います。年行事で選んだ氏子の男子二人が、烏帽子をかぶり、紺地に井桁紋様の着物に白袴という出で立ちで、6本の矢を交互的に向かって射ます。こうして6本の矢をそれぞれ5回と、最後に3本の計33本の矢を引きます。昔は中的の数で五穀豊穡を占いました。2月上旬にも「弓納め式」が行われますが、1月は寒稽古の始まりを、2月の神事は寒稽古の終わりを、それぞれ意味していると言われています。



### 編集後記

本年のお正月は、天気も良く暖かでおだやかでありました。皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年6月に西田新町長が誕生しました。四年でありますので、町政において大きく飛躍していただけるよう願うものであります。

私達、広報委員一同は皆様方に少しでも議会の活動がわかりやすく、また読みやすく、お伝えできるよう努めてまいります。本年も、皆様の率直なご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

#### 議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 森山 敏夫 |
| 副委員長 | 森島 芳男 |
| 委員   | 内山 英作 |
| 委員   | 松浦 博  |
| 委員   | 山田 義明 |
| 委員   | 岡山 富男 |

